

平成26年度
岡山県学力・学習状況調査

調査問題を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

社 会



授業改善のポイント

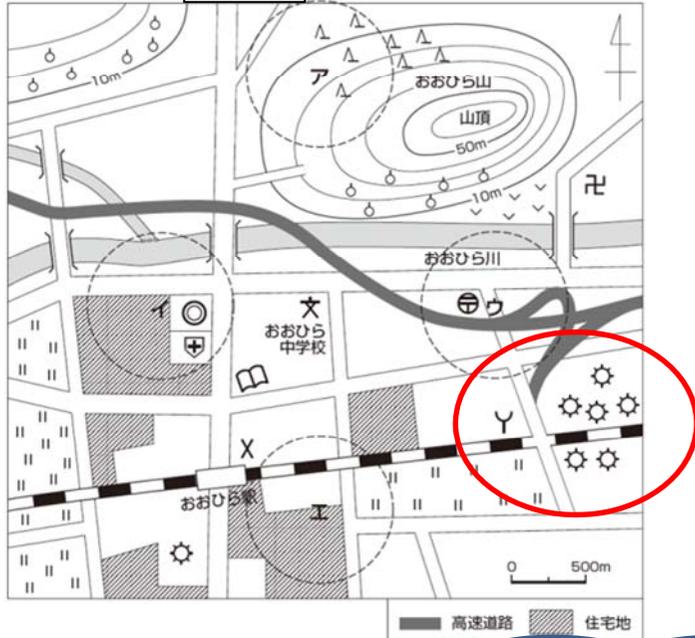
- **社会科における言語活動の充実**
 - ・ 複数の資料から情報を取り出して書く。
 - ・ 必要な情報を判断し、比較、関連付けたことを総合して書く。
 - ・ 自分の判断した結果を基に、他者に対して表現する。
- **基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着**
- **小中のつながりを意識して**



2

言語活動の充実のために

問題 1 (3)



< 出題のねらい >

資料を活用して、地域の特色を読み取り、表現することができているかどうかをみる。

資料1 工場で働く田中さんの話

おおひら市には、たくさんの自動車関連工場があります。

私の働いている工場では、自動車のハンドルを作っています。他の工場では、サイドミラーやシートなどの部品を作っています。各工場で作った部品は、となりの県の自動車工場まで運ばれ、そこで自動車に組み立てられます。

資料2 おおひら市のできごと

- 昭和24年 国鉄(現JR)おおひら駅ができる。
- 昭和27年 せんい工場ができる。
- 昭和34年 おおひら工業高校ができる。
- 昭和42年 化学せんい工場ができる。
- 昭和59年 高速道路が開通し、インターチェンジができる。
(となりの県～おおひら市間60km)
- 昭和61年 自動車第1工場ができる。
- 昭和62年 自動車第2工場ができる。
- 平成3年 自動車第3工場ができる。

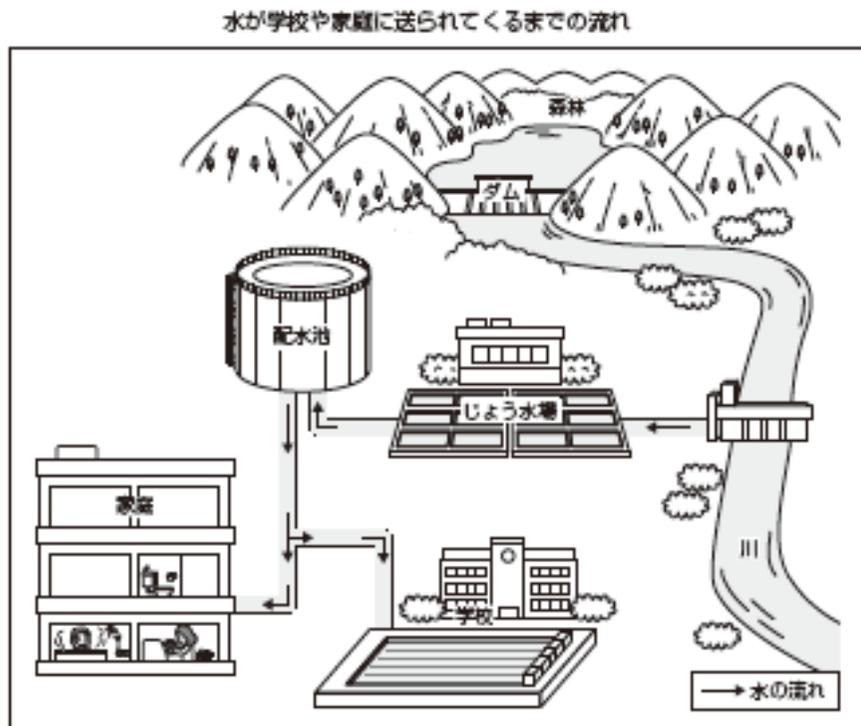
必要な「情報の取り出し、比較・関連付け・総合」しながら説明できていますか？



< 正答例 >

近くに高速道路のインターチェンジがあり、となりの県の自動車工場に部品を運ぶのに便利だから。

- 2 たろうさんは、水が学校や家庭に送られてくるまでの流れについて調べ、次の絵にまとめました。あとの問いに答えなさい。



- (2) 平成24年の新聞記事を見ながら、たろうさんとお父さんが話をしています。あとの問いに答えなさい。

東京都、「家庭で5%節水を」
利根川で取水制限10%

東京都では、10%の単水取量を削減した。今後の降水量
に合わせた節水、水不足も懸念にあり、市民生活への影響が心
配される。東京都では、各家庭での節水を呼びかけている。



平成24年は、取水制限[※]が行われたね。
我が家でも節水を心がけたよ。

東京都の水道水は、主に利根川から取り
入れられた水が使われているんだよ。
利根川の上流には8つのダムがあって、
そこで水をたくわえ、川の水量を調整して
いるんだ。ダムの貯水量[※]が少なくなり、
今後、水不足になる心配があるときには取
水制限[※]が出されるんだよ。



取水制限はダムの貯水量と大きな関係が
あるんだね。
平成24年は、水不足になる心配があっ
たので、(A)の時期に取水制限[※]が出され
たんだね。

東京都の水の多くは家庭で使われているので、それぞれの家庭が
節水の取り組みを行うことで、大きな効果が期待できるんだよ。



※取水制限：川から浄水場に取り入れる水の量を減らすこと
※貯水量：ダムにたくわえられた水の量

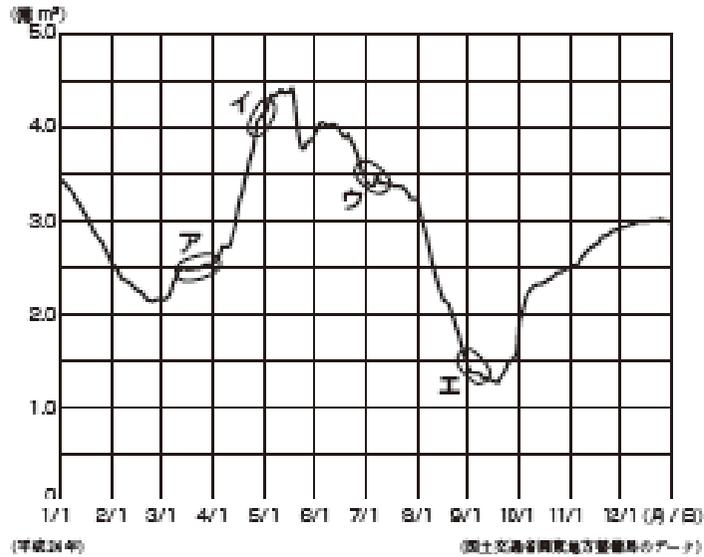
- ① 会話文の(A)にあてはまる時期を、次のページの資料1のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。また、そう考えた理由を、資料1、2をもとに、「ダムの貯水量」と「降水量」の2つの語句を使って説明しなさい。

4

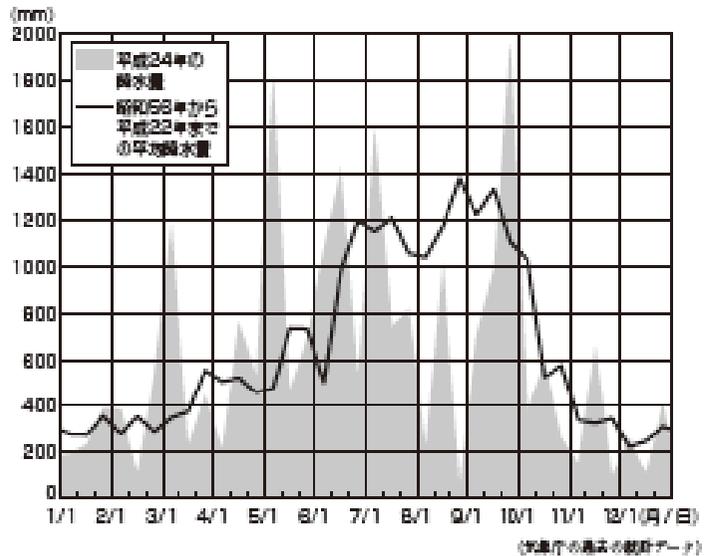
問題 2 (1)②

5年で学習

資料1 貯水量の変化(利根川の上流域のダム)



資料2 降水量の変化(利根川の上流域)



< 出題のねらい >
 2つの資料を基に、取水制限が出された時期を選び、理由を説明できるかどうか、節水の具体的な取組について理解できているかどうかをみる。

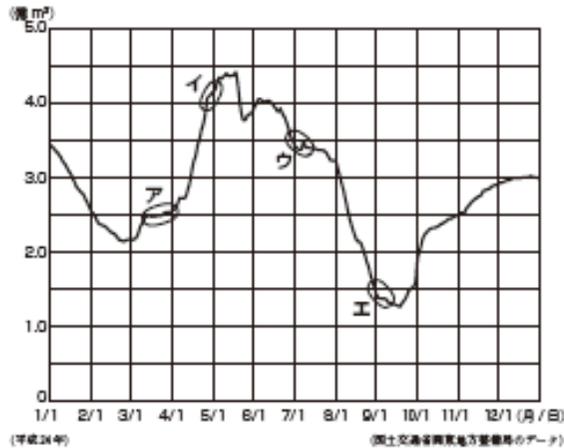
5

これまでは...

2つの資料から分かること・気付くこと・思ったことを見つけて話し合みましょう。



資料1 貯水量の変化(利根川の上流域のダム)

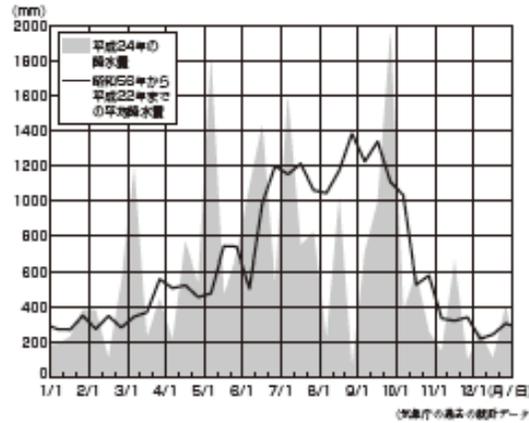


4月から5月にかけて貯水量は増えている。

7月から10月にかけて貯水量が減っている。

10月からは貯水量が増えている。

資料2 降水量の変化(利根川の上流域)



平均降水量と同じ時期と違う時期がある。

8月から9月かけて降水量が少ない。

9月から10月にかけて降水量がとても多い。

資料からできるだけ多くの情報を取り出す経験を!



2つの資料の関連として、降水から貯水までの時間差や、季節による水の使用量の変化をまとめる。

6

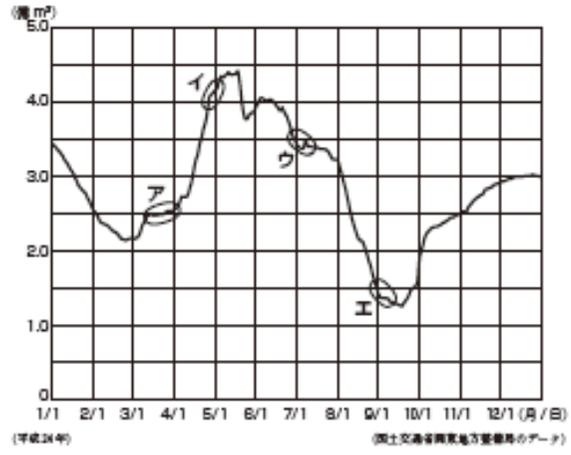
例えば...

2つのグループに分かれて、それぞれの資料から分かること・気付くこと・思ったことを見つけましょう。



Aグループ

資料1 貯水量の変化(利根川の上流域のダム)



4月から5月にかけて貯水量は増えている。

7月から10月にかけて貯水量が減っている。

10月からは貯水量が増えていっている。

情報を取り出す



目的に応じた判断をさせる

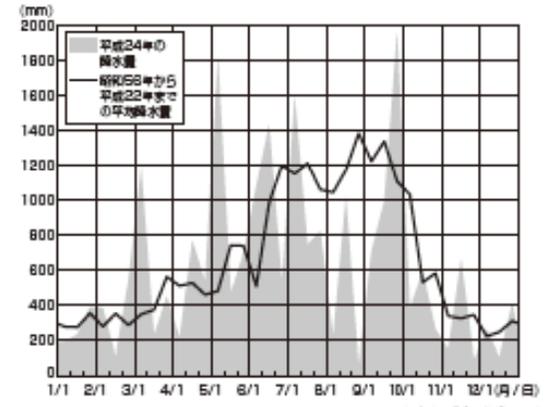


もし、**取水制限を出す**としたら**何月何日頃にするか?**

授業5 (ファイブ) ①

Bグループ

資料2 降水量の変化(利根川の上流域)



平均降水量と同じ時期と違う時期がある。

8月から9月にかけて降水量が少ない。

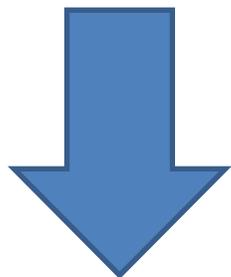
9月から10月にかけて降水量がとても多い。

7

言語活動の充実のために

資料から情報を取り出す

情報の比較・関連付け・総合



再構成
する学習



☆考えたことを自分の言葉でまとめ 伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習の充実

児童生徒が、自分の考えをもつために、思考・表現の手がかりになるものを示しましょう。

グループ学習・ペア学習を行う場合は、児童生徒に付けさせたい力を意図した学習活動を採用入れる。



中央教育審議会答申 平成20年1月より

児童の考えの例

24年の夏は、今までの平均降水量と比べて、降水量が少なかった。

比較

- ~と~は同じである
- 違う点は~である
- ~と比べて
- ~と同じで

工で取水制限が出されたのは、ダムの水が少なくて水不足が予想されたからだ。

関連付け

- 「~であるのは~だからである
- ~と~は違うことから~と考えられる
- ~と~は~という点で共通している

したがって、7, 8月の雨の少ない時期が続いたあとの9月に取水制限が出されたと考える。

総合

- したがって~と考える
- ~にとって~は大切なことである
- ~と~は深い関わりがある
- ~と~をまとめると

自分のことばでまとめる

話形例

言語活動の充実のために

考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習の充実

丁寧な資料の読み方の指導も必要

資料等の量的・質的充実

- グラフ(資料)のタイトルは何か。
- 出典は何か。
- 縦軸・横軸は何を表しているか。
- 単位は何か。
- 全体的にどのように変化しているか。
- 変化はどこが大きく、どこが小さいか。
- グラフ(資料)からこれからの変化を予想できるか。

考える視点の提示が大切

考えたことを自分の言葉でまとめる

キーワードの活用

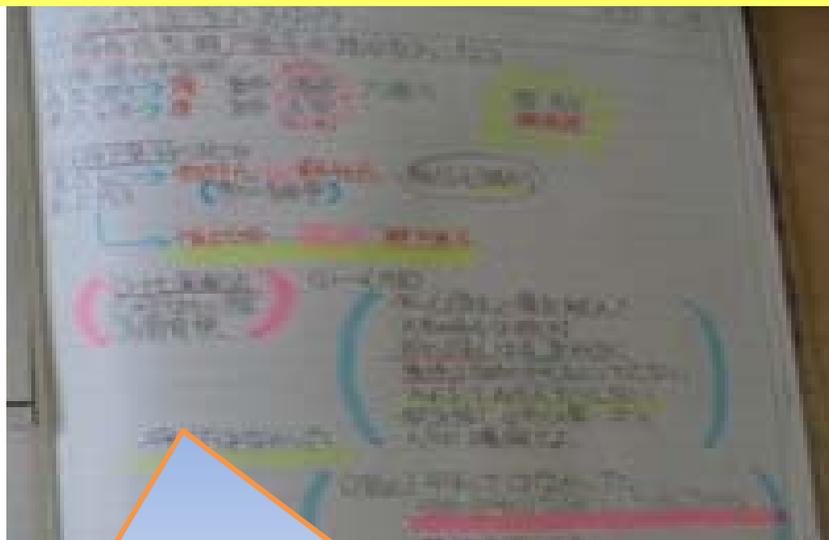
冒頭部分を指定

話形例



言語活動の充実のために

学習した言葉だけでなく、自分の考えも書いているノート



学年当初は特に丁寧な指導が必要

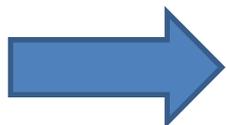
学習した言葉がよく見える掲示



授業で利用した掲示物を利用

学習形態の工夫を！

個人で



ペアで

グループで



授業5 (ファイブ) ②

全体で

11

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

地図活用の第一歩



方位・地図記号は4年終了までに確実に身に付ける。

使うことでより確かな定着を



身近な地域の学習で地形や土地利用の様子を確認

観察調査

指示された道順を指でなぞる

身近な地図の利用

観光マップ
広告の地図
案内地図 etc

地図記号を使って通った道の地図をかく

小中のつながいを意識して

小学校・中学校学習指導要領解説社会編より

地図の有効な活用

3・4年

地図や各種の具体的資料を効果的に活用し・・・

5年

地図や地球儀、統計などの各種の基本的資料を効果的に活用し・・・

6年

地図や地球儀、年表などの各種の基本的資料を効果的に活用し・・・

中学校

地図の読図や作図などの学習を通して・・・

都道府県の学習

3・4年

47都道府県の名称と位置

4年生までに習得した都道府県名と位置がその後の学習において大いに役立つ

中学校

日本の様々な地域（日本の地域構成）
都道府県の名称と位置の他都道府県
県庁所在地